指定管理施設の管理運営状況にかかる評価表　【 令和7年度分 】

施設名	ひらた健康福祉センター障がい者福祉部門	施設所管課	福祉推進課
指定管理者	社会福祉法人ひらた福祉会	指定管理期間	令和3年04月01日　から 令和8年03月31日　まで

1．総合評価

市	【優れていると評価した点】 施設見学会や研修受け入れなどを積極的に行い、利用者の確保に努めるとともに、重度障がい者及び医療的ケアが必要な方々が利用しやすくなるように、各専門職を手厚く配置し、サービス向上に努めている。 施設の維持管理についても適切に行っている。
	【改善すべき点】 近年、障がい程度の重い利用者が増加傾向にある。これに伴い、より専門的な支援を提供できるよう、職員の更なるスキルアップに注力していただく必要がある。引き続き利用者の意見を取り入れ、安定したサービス提供体制の維持・確保に努めていただきたい。
指定管理者	【優れていると評価した点】 養護学校の現場実習を積極的に受け入れるとともに、各相談支援事業所からの見学依頼、お試し利用を受けた。結果、令和８年２月から新たに利用者１名の受け入れ、さらに令和８年４月から養護学校新卒者３名、地域在住者１名の新たな利用者の受け入れを行うこととした。身体障がい者の方が利用しやすいよう、看護師3名、理学療法士１名の専門職を手厚く配置した。また、平田地域のみならず、出雲・大社地域からの利用ニーズにも対応できるよう送迎の工夫を行った。給食は、障がいによる身体の状況に応じた形態の食事を提供した。
	【改善すべき点】 重度の障がいのある方、医療ケアが必要な方の利用希望が増えていることから、個別アセスメントを丁寧に継続的に行い受け入れ体制を強化する必要がある。

2．施設利用について

総括	ホームページやパンフレットによるPRの他に、養護学校からの現場実習、保護者見学、各相談支援事業所相談員、利用者の見学受け入れ等を積極的に行い、新規利用者の確保に努めた。

⑴ 収支状況の推移（自主事業を含む）

（単位：千円）

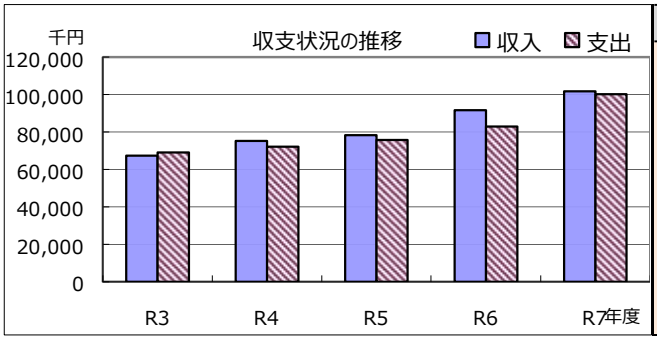
	項目	R3	R4	R5	R6	R7
施設の収支	収入	67,349	75,142	78,299	91,660	101,577
	うち指定管理料	0	0	0	0	0
	うち利用料	1,360	1,457	1,449	1,498	1,407
	その他	65,989	73,685	76,850	90,162	100,170
	支出	69,014	72,016	75,717	82,978	100,145
	差引	△ 1,665	3,126	2,582	8,682	1,432

＜上記以外の市の収入、支出＞

（単位：千円）

	項目	R3	R4	R5	R6	R7
市の収支	収入（使用料）	1,865	2,279	2,180	2,320	2,455
	支出	6,971	8,265	8,295	8,454	8,581
	うち修繕費	0	105	545	0	0

※大規模修繕を除く

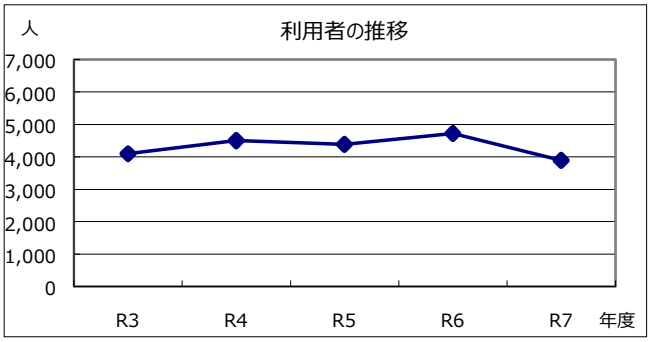


収入増・コスト削減に関する取組
主な収入は介護給付費、主な支出は人件費である。 障害者総合支援法に基づいた人員配置に加え、専門職の配置、障がい程度の重度化や高齢化に対し手厚い人員の配置をしているため、人件費の削減は困難。 【管理経費削減の取組】 利用者の体調に配慮しながら、空調の温度設定を行った。電気・水道も含め使用後の点検を強化し、水光熱費の削減に努めた。

⑵ 利用者の推移

（単位：人）

利用者	R3	R4	R5	R6	R7
	4,097	4,501	4,386	4,721	3,890



利用者の増に向けた取組・利用の動向
ホームページやパンフレットによるPRの他に、養護学校からの現場実習、保護者見学、各相談支援事業所相談員、利用者の見学受け入れ等を積極的に行い、新規利用者の確保に努めた。

⑶ 利用者アンケート

アンケートの実施状況
令和８年３月１日～３月３１日に実施。３３名に配布し２８名から回答を得た。

回答数	職員の対応・マナー・説明、施設管理・サービス			主な意見（問題点）・対応（効果）
28 件	①非常に良い	22 件	78.6 %	【意見・要望及び対応】 ・外出したい、買い物に行きたい⇒行事予定日だけに拘らず、天候、職員配置を考えて外出が可能な際には出掛けるよう職員へ周知し実施した。ただし、買い物は事前に利用者への案内を行なう必要があり（普段、金銭持参されない方が多い為）実施回数は増えていない。 ・生産活動の作業内容が固定化しておりつまらない⇒地域の事業者から受託している性質上、作業内容の変更は難しいため、利用者にはその都度丁寧に説明し理解を得られるよう努めている。今後は、生産活動だけでなく、創作活動としての物作りなどを取り入れ、多様
	②良い	1 件	3.6 %	
	③ふつう	2 件	7.1 %	
	④悪い	1 件	3.6 %	
	⑤非常に悪い	2 件	7.1 %	

⑷ 住民サービス向上の取組・事例

養護学校からの教員、生徒・家族の見学や視察研修、随時ボランティア等の受け入れ、地域行事への職員参加など、地域に開かれた活動を行うことによって、障がい者と地域住民の相互理解に繋げている。

３．自主事業について

総括	令和6年度まで日中一時支援事業を実施していたが、開設時間、人員配置が困難なため一時休止している。日中一時支援事業を、利用されていた方に対しては「生活介護利用前後サービス」という事業所独自のサービスを、8：30～9：30、15：50～17：00の間で必要な利用者に提供している。
実施状況	「生活介護利用前後サービス」の利用回数：延べ約1200回。

４．施設の維持管理・安全対策について

・設備等の保守点検を計画どおり実施し、安定した施設運営ができている。
・危機管理マニュアルにより、緊急時の責任者・連絡体制を定めている。
・利用者を主体とした災害避難自主訓練を年3回実施した。

５．職員（従業員等）の接遇･研修について

・年度初めに全職員に対して接遇研修（OJT）を行った。また、日々、接遇マニュアルに基づき、接遇について職員会議等で確認を行なった。食中毒予防、感染症対策の研修に関しては、季節の変わり目の段階で実施した。